

# Business Report

# へんしも

第52期 第2四半期 / [2022年4月1日~2022年9月30日]



兼松エンジニアリング株式会社

証券コード：6402

強力吸引作業車  
(SM-05BVP)

左から  
武市半平太 坂本龍馬 中岡慎太郎



代表取締役社長

山本 琴一



代表取締役専務

柳井 仁司

## CONTENTS

- 1 ごあいさつ
  -
- 2～3 財務ハイライト
  -
- 4 財務諸表
  -
- 5～6 事業概要
  -
- 7～8 製品トピックス
  -
- 9 トピックス
  -
- 10 会社情報

### 表題 へんしも(土佐弁)の解説

「へんしも」とは土佐弁で「早く」「急いで」の意。  
スピーディーな情報開示の想いです。

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
また、平素より、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第52期第2四半期決算のご報告として「BUSINESS REPORTへんしも」を  
お届けいたします。

### 中期経営計画・第52期全社活動方針

当期は、中期経営計画(3ヵ年)「**変革**」の初年度であり、重点実施事項と  
しまして

#### 1. [顧客志向]

お客様を知り、お客様の求めるものを正確に把握し、相互理解を深めて  
期待を超える成果を提供する。

#### 2. [人材]

働き甲斐のある職場とワークライフバランスを実現する。

#### 3. [品質]

自工程と次工程に責任を持ち、高品質を追求する。

#### 4. [効率]

新生産体制確立と新基幹システム活用で生産性を高め、収益力を  
向上させる。

#### 5. [企業価値]

SDGsへの取り組みにより、社会に貢献する。

に取り組んでおります。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し  
上げます。

2022年11月

## 営業の概況等

当第2四半期累計期間における我が国経済は、原材料の価格高騰や海外経済の減速による下振れが懸念される一方で、新型コロナウイルス感染症の感染が急拡大したものの、まん延防止等重点措置などは導入されず、個人消費の急減速は避けられ、企業業績や輸出の底堅さを背景に、景気は緩やかに持ち直しの動きが見られます。

かかる状況下、当第2四半期累計期間は、懸念された部品供給不足やシャシの入庫時期の不透明といった要因は最小限に留まりましたが、シャシの外的要因による様々な制約を受け、大型機種や特殊製品の販売は減少となり、加えて前事業年度に操業開始した工場「テクノベース」の償却負担もあり、前年同四半期比減収・減益の結果となりました。

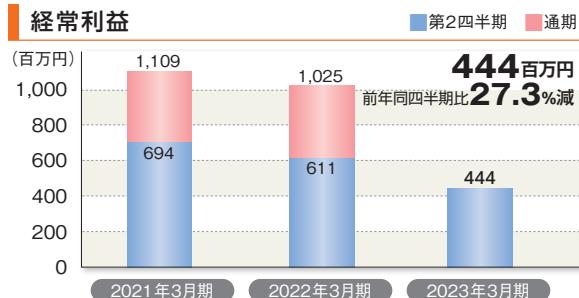
一方で、足元の受注環境は引き続き好調であり、当第2

四半期会計期間末での受注残高は前年同四半期に比べ増加しております。

なお、当事業年度売上に影響を及ぼす可能性のあるシャシの搬入についても確保の見通しであります。

業績(数値)につきましては、前第2四半期累計期間に比べ受注高は282百万円増の6,610百万円(前年同四半期比4.5%増)、売上高は63百万円減の5,751百万円(前年同四半期比1.1%減)となりました。損益につきましては、営業利益は164百万円減の431百万円(前年同四半期比27.6%減)、経常利益は166百万円減の444百万円(前年同四半期比27.3%減)、四半期純利益は103百万円減の305百万円(前年同四半期比25.4%減)を計上することとなりました。

## 2023年3月期第2四半期の業績ハイライト

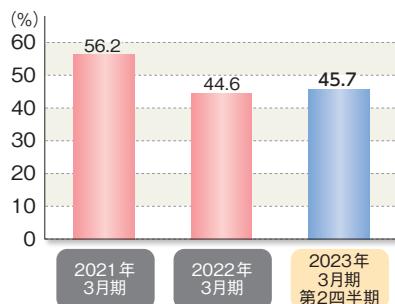


## 財務分析指標の推移

## 1株当たり純利益



## 自己資本比率



## 1株当たり純資産



## ROE (自己資本利益率)



## PER (株価収益率)



## PBR (株価純資産倍率)



## 通期業績予想

項目	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
通期予想	11,000百万円	685百万円	700百万円	485百万円	100円80銭

## 財務諸表

## 貸借対照表

(単位:千円)

科 目	当第2四半期末 (2022年9月30日)	前 期 末 (2022年3月31日)
(資産の部)		
流動資産	6,600,146	6,761,595
固定資産	5,982,342	6,050,065
有形固定資産	5,327,311	5,457,983
無形固定資産	323,672	289,524
投資その他の資産	331,358	302,558
<b>資産合計</b>	<b>12,582,489</b>	<b>12,811,661</b>
(負債の部)		
流動負債	4,534,042	5,272,699
固定負債	2,294,783	1,826,557
<b>負債合計</b>	<b>6,828,825</b>	<b>7,099,256</b>
(純資産の部)		
株主資本	5,753,867	5,713,399
資本金	313,700	313,700
資本剰余金	356,021	356,021
利益剰余金	5,997,731	5,957,262
自己株式	△ 913,585	△ 913,585
評価・換算差額等	△ 204	△ 994
<b>純資産合計</b>	<b>5,753,663</b>	<b>5,712,404</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>12,582,489</b>	<b>12,811,661</b>

## 損益計算書

(単位:千円)

科 目	当第2四半期 (自 2022年4月 1 日 至 2022年9月30日)	前第2四半期 (自 2021年4月 1 日 至 2021年9月30日)
売上高	5,751,049	5,814,742
売上原価	4,375,773	4,391,157
<b>売上総利益</b>	<b>1,375,276</b>	<b>1,423,584</b>
販売費及び一般管理費	944,143	828,423
<b>営業利益</b>	<b>431,132</b>	<b>595,161</b>
営業外収益	16,396	16,991
営業外費用	3,449	1,087
<b>経常利益</b>	<b>444,079</b>	<b>611,065</b>
特別利益	318	9,976
特別損失	774	27,541
<b>税引前四半期純利益</b>	<b>443,622</b>	<b>593,500</b>
法人税等	138,524	184,413
<b>四半期純利益</b>	<b>305,098</b>	<b>409,086</b>

## キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	当第2四半期 (自 2022年4月 1 日 至 2022年9月30日)	前第2四半期 (自 2021年4月 1 日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,513,149	135,654
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 251,818	△ 1,503,316
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 363,953	1,156,329
現金及び現金同等物の増減額	897,377	△ 211,332
現金及び現金同等物の期首残高	562,293	917,482
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,459,670	706,150

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

当社は環境整備機器の製造販売を行っています。  
 その中でも産業廃棄物処理関係が主体であり、各種製品の特徴及び売上推移は、次の通りです。

**強力吸引作業車・汚泥吸引作業車**

売上高 **3,876**百万円

国内最大シェアを占め、産業廃棄物等の収集運搬に用いられるとともに、様々な付加機能により用途を広げています。

〈用途〉

- 廃棄物の収集運搬
- 汚泥の高揚程回収
- 汚泥の長距離吸引



超強力吸引作業車 (SQ-13BVP)

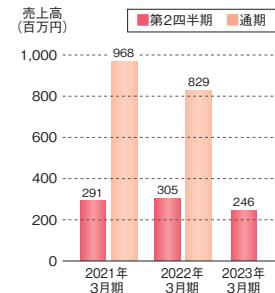


強力吸引作業車 (SM-04BVP(S))

**新製品等/その他**

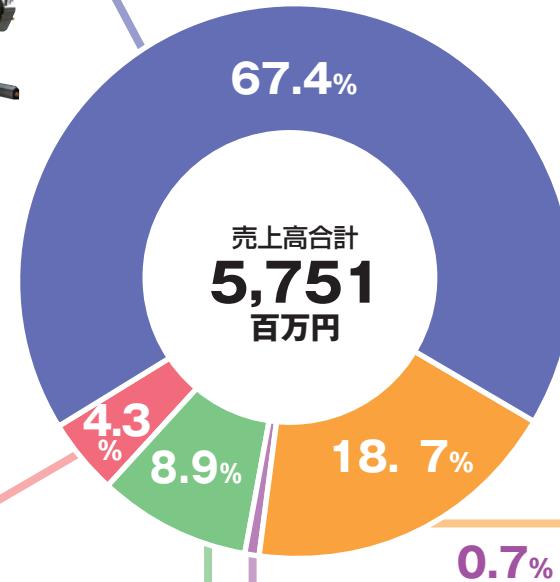
売上高 **246**百万円

新製品や主要区分に属さない製品及び修理等が含まれています。



定置型吸引機 (NEL-150SW)

**製品別売上高構成比**



**高圧洗浄車・ビルメンテナンス用清掃車**

売上高 **1,077**百万円

高性能の実現と誰にでも使用できる使い易さで市場に浸透しています。強力吸引作業車に次ぐ当社第2の主力製品となっています。

〈用途〉

- 下水道管の洗浄
- ビル配管システムのメンテナンス
- 熱交換器の清掃



高圧洗浄車 (JS-03SS1850A)



**粉粒体吸引・圧送車**

売上高 **39**百万円

吸引機能と加圧圧送機能を組み合わせ、粉粒体の長距離・高所搬送を行います。

〈用途〉

- 石灰・セメント
- 原料等粉粒体の回収
- 高所搬送



粉粒体吸引圧送車 (SM-16BVYT)



**部品販売**

売上高 **511**百万円

当社製品に関連する部品の売上げです。



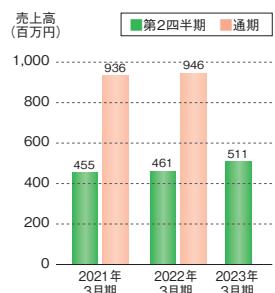
フローゲージ



送り出し装置用タイヤ



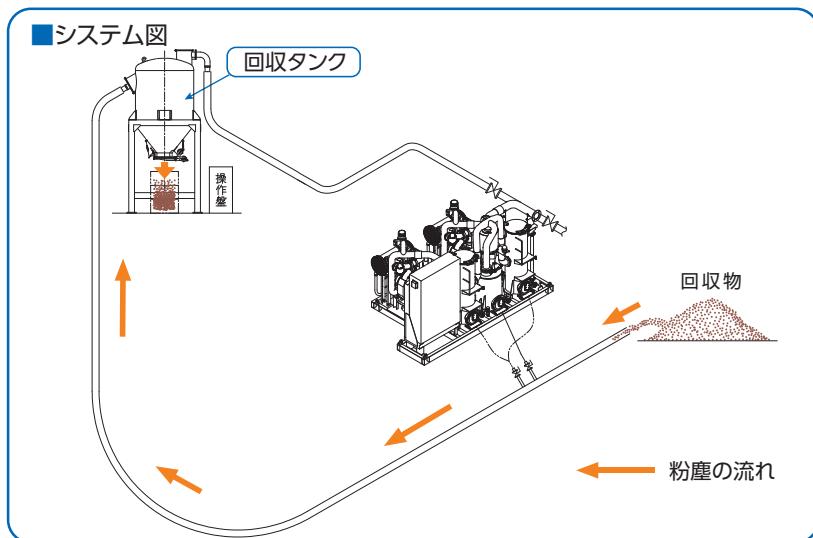
長円型レベル窓



## 定置型吸引機 (NEL-150SW)



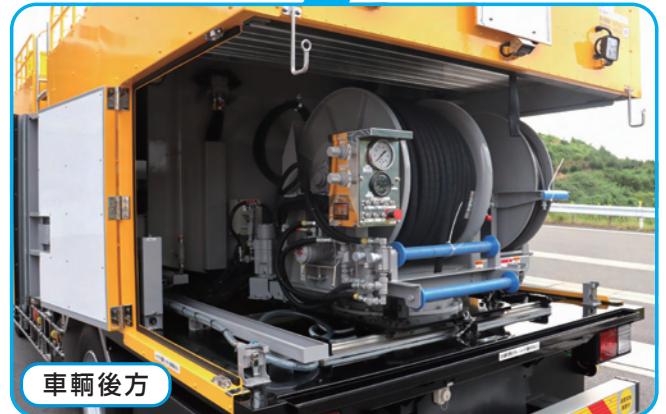
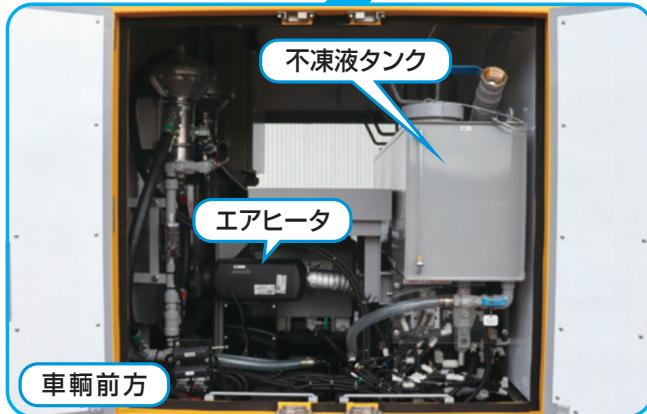
回収タンク



本製品は、工場内の粉塵ダストを回収する空冷式ブロワ搭載の定置型吸引機です。冷却水を必要としないので、給排水が不要です。

作業者の労力軽減を目的として、吸引機の機器内の自動清掃機能を有しています。

## 寒冷地仕様 高圧洗浄車 (JS-06S2320K(S))



本製品は、寒さの厳しい地域でも安心して洗浄作業ができる、凍結対策をした車輦です。各部（機械室、水タンク、操作室）をフルカバーで覆い、カバー内部にはエアヒータ・保温材を取付けました。機械室カバー内には不凍液タンクを搭載し、簡単なバルブ操作で各ラインに不凍液を循環することが可能です。

## 2022NEW環境展

2022年5月25日～27日に東京ビッグサイトにて開催されました「2022NEW環境展」に出展しました。

環境展での屋内出展は初の試みで、強力吸引作業車 SM-04BVP(S)とマイクロ波抽出装置を展示しました。

ブースには400社以上のお客様に足を運んで頂き、ご好評をいただきました。



ブース正面



展示車輛



マイクロ波抽出装置を利用したお客様の製品

## KCSネットワーク

※KCSネットワーク：当社製品のアフターサービスを担っている全国のサービス工場間によるネットワークサービスです。



会議の様子



Web参加者



技術サービス講習会の様子

上記の環境展に合わせて、5月27日に東京ビッグサイト内会議室にてKCSネットワーク協議会を開催しました。

KCSネットワークが発足して3期目になりますが、コロナ禍もあり今回が初めての全体会議となります（ブロック長10社協議会は過去2回開催）。

架装物安全点検のエリア毎の実施率等を報告し、また点検実施率を上げる取り組みの一つとして、点検記録簿の電子化のデモンストレーションを行いました。

ネットワーク会員各社との連携を強化し、ブロック毎に架装物安全点検の資格取得を目的とした講習会なども実施しており、さらなる顧客満足度の向上に努めてまいります。

## 会社の概要

設立年月日	1971年9月1日
資本金	313,700,000円
従業員数	242名
事業内容	強力吸引作業車、高圧洗浄車等 環境整備機器の製造販売

## 役員

代表取締役社長	山本 琴一
代表取締役専務	柳井 仁司
常務取締役	北村 和則
社外取締役	長山 育男
社外取締役	十川 智基
常勤監査役	中野 守康
社外監査役	蝶野 成臣
社外監査役	高芝 貴彦

## 事業所

本社	〒781-5101 高知市布師田3981-7 TEL (088) 845-5511 FAX (088) 845-5211
テクノベース	
生産技術センター	〒781-8130 高知市一宮4786-34 TEL (088) 820-2900 FAX (088) 820-2440
検査出荷センター	〒781-8130 高知市一宮4786-33 TEL (088) 820-2907 FAX (088) 820-2447
東日本支社	
東東京支店/ 西東京支店	〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町20-1 アンソレイエ・オオタ6F・8F TEL (03) 3667-7330 FAX (03) 3667-7333
東北・北海道支店	〒982-0012 仙台市太白区長町南4-12-27 NS泉崎2F TEL (022) 248-2991 FAX (022) 248-2995
札幌営業所	〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東1-3-23 山勇ビル5F TEL (011) 893-0861 FAX (011) 893-0860
名古屋支店	〒462-0013 名古屋市中区東味鋸1-702 TEL (052) 902-5538 FAX (052) 902-5525
西日本支社	
大阪支店	〒566-0064 大阪府摂津市鳥飼中2-2-43 TEL (072) 653-1136 FAX (072) 653-1350
中四国支店	〒739-0026 広島県東広島市三永2-8-16 太田ビル1F TEL (082) 426-2131 FAX (082) 426-2133
四国営業所 (本社内)	〒781-5101 高知市布師田3981-7 TEL (088) 845-5511 FAX (088) 845-8844
福岡支店	〒810-0001 福岡市中央区天神3-10-1 天神源氏ビル6F TEL (092) 761-7761 FAX (092) 761-7760

## 株式の状況

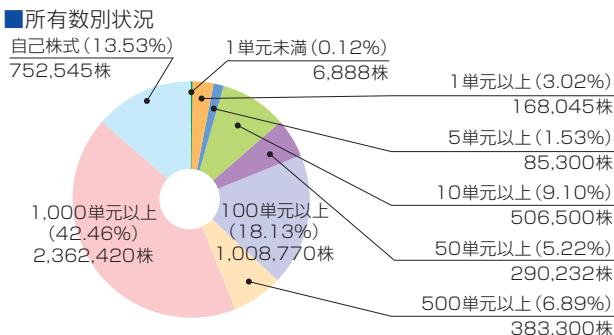
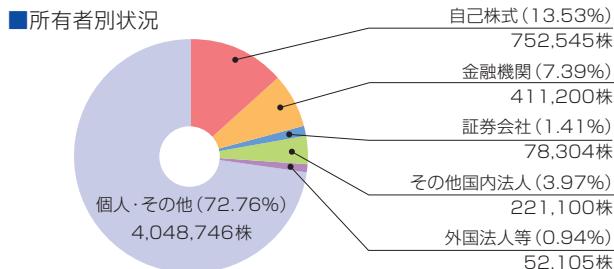
会社が発行する株式の総数 17,576,000株  
発行済株式の総数 4,811,455株  
(自己株式752,545株を除く)

株主数 2,321名  
大株主

株主名	持株数	持株比率
山本 琴一	469,600株	9.76%
兼松エンジニアリング従業員持株会	404,000株	8.40%
山口 隆士	318,432株	6.62%
山本 吾一	262,860株	5.46%
三谷 恵美子	212,680株	4.42%
柳川 裕司	197,860株	4.11%
株式会社四国銀行	152,100株	3.16%
坂本 洋介	133,848株	2.78%
三谷 公男	106,540株	2.21%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	104,500株	2.17%

(注) 1.当社は、自己株式(752,545株)を保有しておりますが、上記表には記載しておりません。  
2.持株比率は、自己株式(752,545株)を控除して計算しております。

## 株式分布状況



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日(中間配当を行う場合は毎年9月30日) その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

### 【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。  
証券会社の口座をご利用でない株主様は、下記電話照会先までご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、下記「よくあるご質問(FAQ)」サイトでご確認いただけます。

### 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

三井住友信託銀行株式会社

### 株主名簿管理人事務取扱場所

大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)

### (インターネットホームページURL)

<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

### (よくあるご質問(FAQ))

[https://faq-agency.smtb.jp/?site\\_domain=personal](https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal)

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお問い合わせいたします。

### 公告方法

電子公告(当社ホームページ URL <http://www.kanematsu-eng.jp/>)

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

### 上場証券取引所

東京証券取引所 スタンダード市場

**K&E 兼松エンジニアリング株式会社**

KANEMATSU ENGINEERING CO.,LTD.

本社 〒781-5101 高知市布師田3981番地7

TEL.(088)845-5511 FAX.(088)845-5211

<http://www.kanematsu-eng.jp/>



**R280**  
古紙配合率80%再生紙



このビジネスレポートは、環境に配慮し、再生紙と植物油インキを使用しております。